

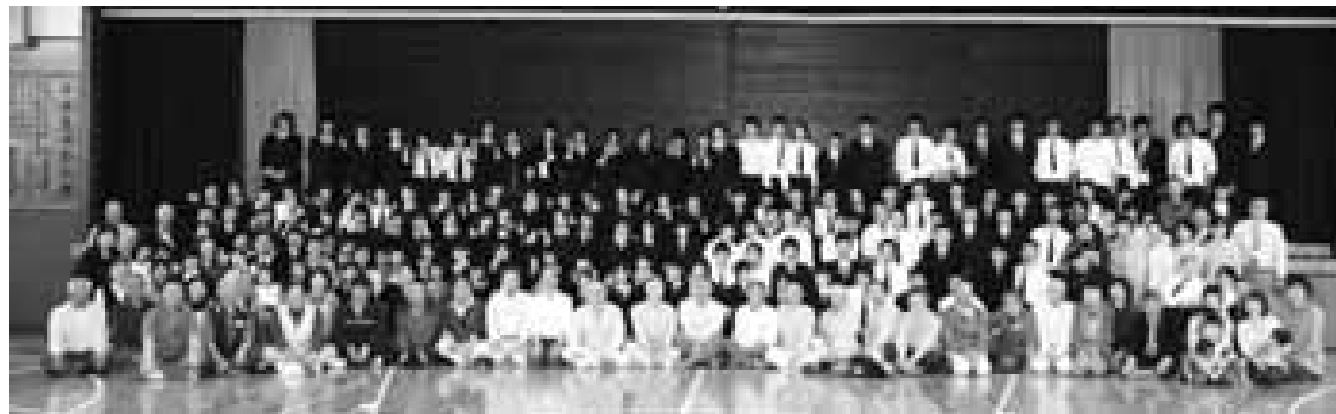
グリーン・ツーリズム農業体験 相模原市立緑が丘中学校と 16回目の交流



畑の除草作業も大切な作業です（菅原恵美子さん宅宿泊生徒）



▶農家の方の指導を受け、里芋の定植も慣れてきました（駒形和宣さん宅宿泊生徒）



お別れ式では受け入れ農家と生徒全員で記念撮影



吉川 光さん
（緑が丘中3年）

私は修学旅行中、ライスアートや耕運機を使った作業、牛の世話をしたりしました。普段何気なく食べているご飯も食卓に並ぶまで、こんなに苦労して作られていることを改めて知り、作ってくれた人への感謝の気持ちを忘れてはいけなかったと思います。

農作業体験の他、中尊寺などを見学し平泉の歴史を感じることもできとても良い思い出になりました。



三上山海斗さん
（緑が丘中3年）

私は初めて田んぼで農作業をしました。今まで何度か畑では作業をしたことはあるのですが、田んぼは初めてだったので、とてもワクワクしました。

田んぼに入ってみると感触は良かったのですが、寒い日だったので水がとても冷たく慣れるまで時間がかかりました。それなのに、農家の人はどんどん入っていき、素早く作業をするので、改めてすごいと思いました。



小野雅晃さん
（緑が丘中3年）

私はライスアートに参加して初めて田植えをしました。

田んぼの水は冷たかったけど、泥の中は意外と暖かくてびっくりしました。線に沿って苗を植えることが難しく、田んぼの中を歩いている時も足が泥にはまって大変でした。そして、田植えの後に食べた温かいみそ汁がおいしかったです。

今回は3種類の苗を使ったので出来上がりがとても楽しみです。



大山浩子さん
（緑が丘中3年）

今回の修学旅行では、現地の方に本当にお世話になりました。

私がお世話になった菅原さんという農家の方と話をしていくうちに、平泉の歴史や菅原さんたちの人柄がよく分かり、自分のおじさんとおばさんのように思えて、お別れ式の時には思わず泣いてしまいました。

他にも3日間で出会った平泉の方々はとても優しく、後輩にも体験してほしいと思いました。

修学旅行で農業体験を「平泉町グリーン・ツーリズム推進協議会（千葉正吾会長）が行っている神奈川県相模原市立緑が丘中学校の農業体験学習の受け入れも今年で16回目を数えました。今年5月29日に同校3年生130人が来町。33戸の農家に分かれて民泊し、田植え作業や牛の世話、畑作業などを体験しました。今月号では、受け入れてくださった農家の方々と、生徒たちの感想を紹介します。



千葉正吾さん
（13区）

今年も緑が丘中学校の受け入れは肌寒い今にも降り出しそうな空模様でした。昨年体験した「ライスアート」に今年も参加しました。一旦植えた苗を抜いて、色苗に植え替える作業でしたが、生徒たちは真剣に植えていました。田植え終了後、アグリ平泉のサービスで、温かいみそ汁を大変美味しくいただき体が温まりました。翌日は6時30分に早朝ウォーキングに出発。義経堂、弁慶の墓、中尊寺杉並木で引き返した。朝食後は前日に引き続きスマッコ植えをさせて

から、戸河内へ蕨取りに行きました。蕨取りは初めてということで野原を駆け回っていました。その様子を見て、元気をもらった様な感じがしとても楽しく過ごしました。

また今年も受け入れ農家が足りず、農家開拓に苦労しました。興味のある方には、受け入れをぜひお願いしたいと思います。皆さんよろしくお願いいたします。



色の違う稲を植えて絵や文字を浮かび上がらせる「ライス・アート in ひらいずみ」(農事組合法人アグリ平泉主催)の田植えが5月29日、高館橋東側のほ場約1.2㍓で開催。町民とともに緑が丘中の生徒も参加した



作業の後の温かいみそ汁。最高です！



丸山高子さん
（10区）

農業体験学習の受け入れは今回が初めてで、女の子を4人受け入れました。

1日目は、高館橋東側のほ場で行われたライスアートに参加してもらいました。子どもたちは慣れない泥の感触にとてはしゃいでいる様子でした。この日は、相模原市を出発するのが早かったということで、自宅に着いてからはゆっくり休んでもらいました。夕食は外で焼き肉の予定でしたが、肌寒かったので中での食事となりました。煮物などの田舎料理もみんな喜んで

いっぱい食べてくれてました。2日目の作業は、畑でトウモロコシや枝豆の種まきなどをしてもらい、普段したことのない作業に時間が経つのも忘れてみんな取り組んでいました。2日間だけの交流でしたが、素直な子どもたちで、孫のようにかわいいものだと思いました。健康なうちは今後も受け入れていきたいです。